

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 6 月 1 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 9 番 藍原 章

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
② 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2)	国の新たな就職氷河期世代等支援プログラムに対する 高島市の取り組みについて
発 言 事 項	
要 旨	<p>国は本年、4月10日「就職氷河期世代等支援プログラム」を改定し、従来の就労支援に加え、介護との両立、住宅確保、家計改善、資産形成など、高齢期を見据えた包括的な支援を推進する方針を示しました。</p> <p>就職氷河期世代とは、バブル崩壊後の1993年から2004年頃に就職活動を行い、不安定な就労環境の影響が長期化する中、極めて厳しい雇用環境の影響を受けた世代であり、現在は40代後半から50代前半となっている。正社員として就職できなかった、非正規雇用を余儀なくされた、希望する職種につけなかった、低賃金や不安定な雇用が長期化したといった状況が全国的に発生しました。このことから、低所得、未婚・単身化、親の介護、老後への備え不足など、複合的な課題を抱える方が少なくありません。また、</p>

地域とのつながりが希薄となり、孤立やひきこもりの問題が顕在化しているケースも見受けられます。

今回の改定で、国は就労のみならず、介護、住宅、家計改善、資産形成など高齢期を見据えた包括的支援に2026年度から2028年度までの3年間程度、集中的に取り組むとしています。

高島市においても、こうした世代への支援は、雇用対策にとどまらず、福祉、介護、住宅、生活困窮者支援などを横断した総合的な取組が求められると考えます。

そこでお伺いします。

1. 市は就職氷河期世代の就労状況や生活実態、介護や経済的課題等についてどのように把握していますか。
2. 国の新たな支援プログラムを受け、市としてどのような支援策の活用を検討していますか。
3. 就労支援だけでなく、生活困窮、ひきこもり、介護離職防止、住宅確保、家計改善など複合的な課題に対応するため、庁内横断的な支援体制の構築など、地域の企業、ハローワーク、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と連携し、就職氷河期世代が将来に希望を持って暮らせる環境づくりを進める考え等、お伺いします。